

四国土地改良調査管理事務所だより



しこくみち

Vol.13 2014 10



目次

INDEX

南予用水支所が開設されました	1
国営かんがい排水事業香川用水二期地区が着工されます	3
西条分室が開設されました	4
道前平野地区環境学習会	5
ディスカバー農山漁村（むら）の宝	7
文化・歴史	10

農林水産省
中国四国農政局

南予用水支所が開設されました

南予用水地区は、愛媛県南西部に位置する宇和島市、八幡浜市、西予市及び西宇和郡伊方町にまたがる7,200haの農業地帯であり、かんきつ類による農業経営が行われています。

本地区のほとんどは急傾斜で、かんがい施設は皆無に近く、用水は天水に依存していたため、常に干ばつの脅威にさらされていました。このため、農業用水及び南予地域17万人に水道用水の安定供給を行うとともに、農業生産基盤の改善、農業経営の合理化と安定化を図ることを目的に、国営南予用水土地改良事業（昭和49年度～平成11年度）により基幹的な水利施設を整備しましたが、事業完了後、経年劣化による施設の性能低下が生じており、今後、更なる性能低下の進行により、施設の維持管理に多大な費用と労力を要するとともに、農業用水の安定供給に支障をきたすことが懸念されるようになってきました。

このような状況の中、四国土地改良調査管理事務所では、8月1日より南予用水支所を開設し、今後10年間の事業工期で施設長寿命化計画に基づき、施設の機能を保全するための整備を行うことにより、施設の長寿命化、施設の維持管理の軽減及び農業用水の安定供給を図ることとしています。

また、8月21日には愛媛県、関係市町（宇和島市、八幡浜市、西予市、西宇和郡伊方町）、ならびに南予用水土地改良区連合、南予水道企業団、中国四国農政局関係者総勢約20名が参加して開所式が行われ、本事業の円滑な推進を願いました。



【写真上】南予用水支所看板揭示

左から、石橋南予水道企業団企業長（宇和島市長）、大城南予用水土地改良区連合理事長（八幡浜市長）、田中整備部長、三好愛媛県農林水産部長



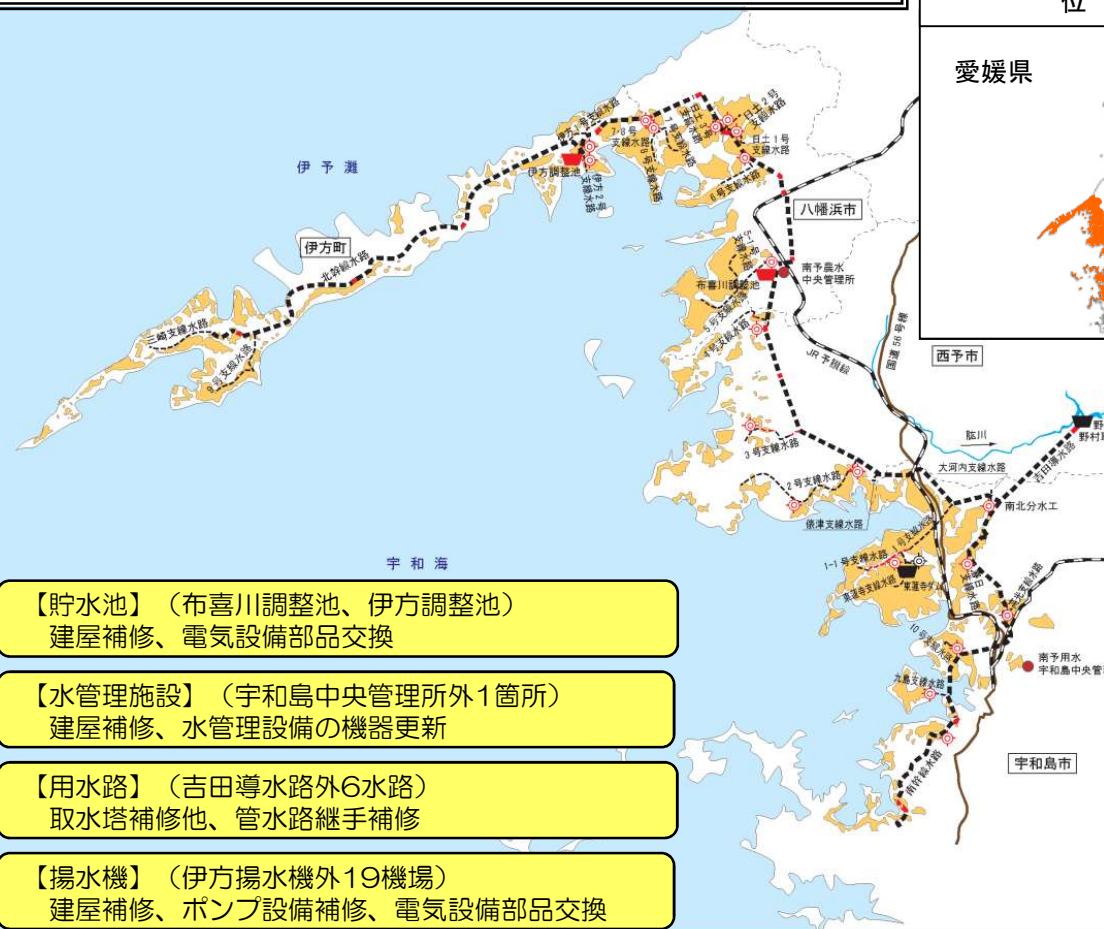
【写真左】参加者による記念撮影

国営施設機能保全事業 南予用水地区 計画概要図

位置図

愛媛県

南予用水地区



受益面積	
畑かん	7,200 ha
凡 例	
	受益地（樹園地）
	ダ ム（改修）
	ダ ム（既設）
	揚水機（改修）
	揚水機（既設）
	用水路〔幹線〕（改修）
	用水路〔幹線〕（既設）
	用水路〔支線〕（改修）
	用水路〔支線〕（既設）
	市 町 界

現 状

【貯水池】

- ①建 屋：ひび割れ、屋上防水の劣化
- ②電気設備：経年劣化、故障

【揚水機】

- ①建 屋：ひび割れ、屋上防水の劣化
- ②ポンプ設備：部品の磨耗
- ③電 気 設 備：経年劣化、故障

【用水路】

- ①取水塔他：ひび割れ、漏水、摩耗
- ②管 水 路：継手部の劣化

【水管理施設】

- ①建 屋：ひび割れ、屋上防水の劣化
- ②水管理施設：経年劣化、故障

機能保全対策

【貯水池】

- ①建 屋：ひび割れ補修、屋上防水補修
- ②電気設備：部品交換

【揚水機】

- ①建 屋：ひび割れ補修、屋上防水補修
- ②ポンプ設備：分解整備、部品交換
- ③電 気 設 備：部品交換

【用水路】

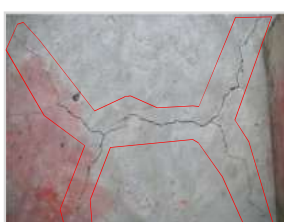
- ①取水塔他：ひび割れ補修、鋼管内面塗装他
- ②管水路：継手補修

【水管理施設】

- ①建 屋：ひび割れ補修、屋上防水補修
- ②水管理施設：部分更新

＜対策イメージ＞

【ひび割れ補修】



補修前



補修後（ひび割れ注入工例）

【ポンプ設備 補修】



補修前



補修後（研磨、欠損部の補修等）

国営かんがい排水事業 香川用水二期地区が着工されます

1. はじめに

国営かんがい排水事業「香川用水二期地区」（以下「本地区」という。）は、前歴事業（S43～S55）で造成された幹線水路等の老朽化に伴い、施設の改修等を本年度から実施することとしています。

以下に本地区の概要を説明いたします。

2. 事業の目的

本地区の農業用水は、河川、ため池をはじめとする地区内水源の他に、早明浦ダムに必要水量の3分の1を依存しており、国営香川用水土地改良事業により造成された、東西分水工、幹線用水路等の施設により、香川県内のほぼ全域へ配水されています。しかし、これらの施設は経年的な施設の劣化により管水路の漏水事故が発生するなど、用水の安定供給に支障を来すとともに、維持管理に多大な費用と労力を要しています。

このことから、本事業では老朽化した幹線用水路等の整備を行い、用水の安定供給と施設の維持管理の軽減を図り、農業生産の維持及び農業経営の安定に資することを目的としています。

3. 事業内容と事業量

■関係市町

高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、木田郡三木町、綾歌郡宇多津町、綾川町、仲多度郡琴平町、多度津町、まんのう町

■受益面積（H24.4.1時点） 23,593ha

（うち、水田19,686ha、畑3,907ha）

■事業量

○揚水機場改修 2か所

（東部幹線揚水機場、大池揚水機場）

○用水路改修 L=23.4km

（東西分水工、東部幹線用水路、西部幹線用水路、高瀬支線用水路）

○水管理施設更新 一式

（中央管理所、中継局、子局等）

4. 事業工期と総事業費

■事業工期 平成26年度～平成35年度

（工期10年間）

■総事業費 14,000百万円

（共同工事受託費56百万円除く）

【施設老朽化の現状】

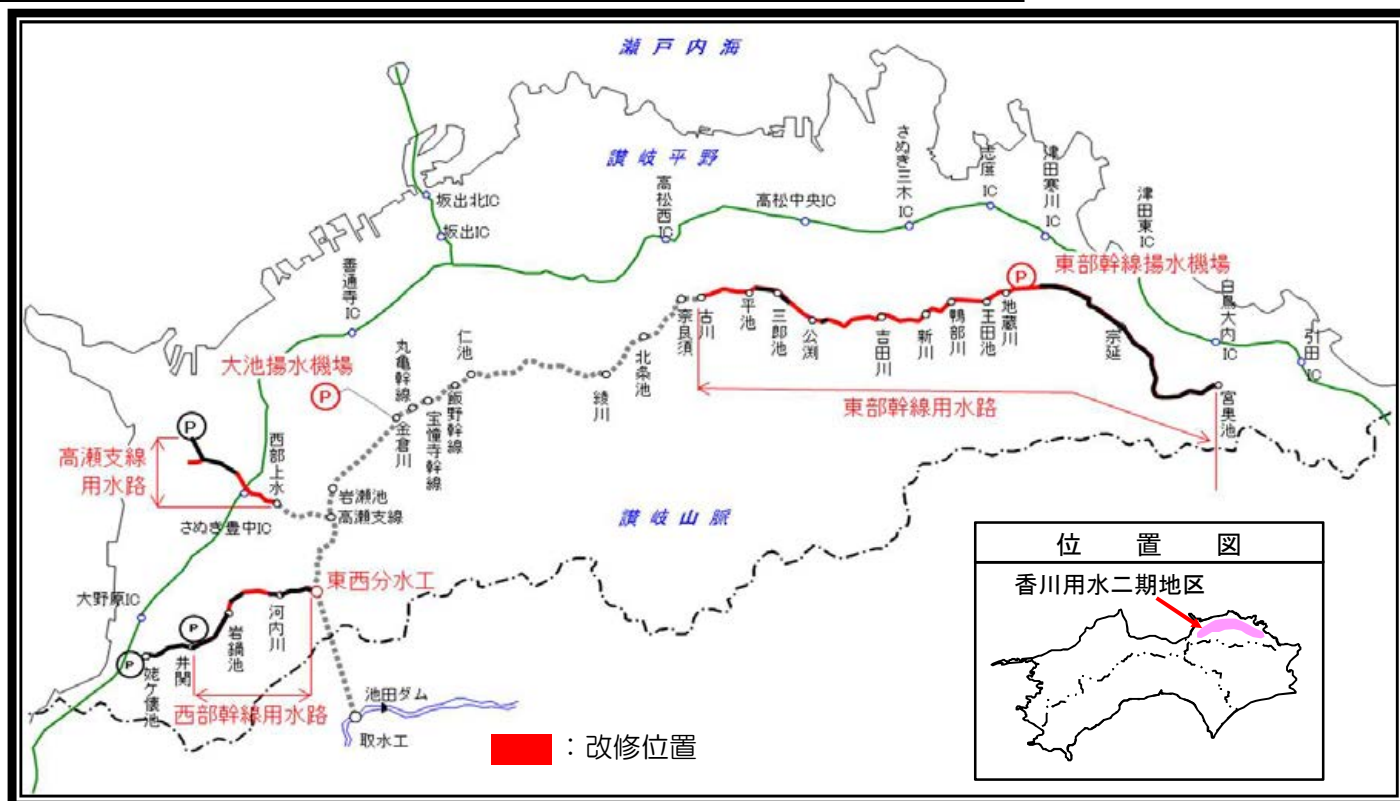


【開水路】
開水路のひび割れ

【パイプライン】
経年劣化による
継手の漏水

【暗渠】
暗渠部の変状

国営かんがい排水事業 香川用水二期地区 計画概要図



※香川用水二期地区に関するお問い合わせは右記をお願いします。→

【連絡先】香川県丸亀市飯山町川原1114-1飯山市民総合センター3階
TEL (0877) 59-7370 FAX (0877) 59-7373

西条分室が開設されました ～ 道前平野地区 地区調査着手 ～

道前平野地区の地区調査着手にあたり、4月より愛媛県西条市に西条分室を開設し、四国調査管理事務所計画課及び調査課の職員計5名が駐在して、日々業務に当たっています。（写真は分室看板掲示模様）

本地区では、国営緊急農地再編整備事業によりほ場の大区画化と農地の利用集積等による農作業の効率化を進めるとともに、排水改良による水田の汎用化等をはかることを目的としています。

事業の詳細は前号（Vol.12：2014.年3月発行）をご参照ください。

URLはこちら↓↓↓

<http://www.maff.go.jp/chushi/kj/yontyou/pamphlet.html>



【写真】事業看板掲示
（左から青野 西条市長、細谷 農村計画部長）

道前平野地区環境学習会

四国土地改良調査管理事務所では、地域の活動組織（多面的機能支払交付金の活動組織）と共同で、愛媛県西条市内の田んぼや農業用水路において、地元小学校の生徒を対象に環境学習会を開催しました。

これは現在、地区調査を行っている道前平野地区の国営緊急農地再編整備事業の計画に当たり、環境との調和に配慮した事業を推進するため、環境保全の意識啓発を目的に実施したもので、事業対象地である2地区（明理川団地及び北条団地）で農村環境保全活動を実践している活動組織へ運営をお願いしたところ、「環境保全を継続させるためには、地域にどんな生き物が生息しているか、次の世代を担う子供達に知ってもらい伝承していくことが大切」と快諾していただき開催に至ったものです。この環境学習には、地元の子どもたちが地元の自然環境を知り、将来にわたり守ってほしいという地域の思いが込められています。

あかりがわ 明理川地区

協力活動組織：「花水（かすい）の里 明理川」

参加者：明理川小学校児童18名、父兄、小学校の先生

実施日：H26年8月12日



生きものを必死に捕まえる子供たち



運動靴のまま水路に入る子供もいました



魚類・両生類・昆虫類等
合計33種の生き物を確認！

職員に聞きながら捕まえた生き
ものを同定*しました

※同定：生き物の所属や分類、種名を調
べて決定すること

北条地区

協力活動組織：「北条地区環境保全会」

参加者：多賀小学校児童14名、父兄

実施日：H26年9月15日



タモ網を器用に使って捕まえる子供たち



職員に聞きながら捕まえた生きものを同定しました

田んぼの生きもの観察会 10 北条

確認結果

生物群	種名	1班	2班	3班	合計	確認者	備考
魚類	ニホンフナギ	1	2	0	3	HN	特定外来
	コイ	0	0	0	0		
	アサギ	0	0	0	0		
	ウツギ	0	0	0	0		
両生類	アカハシ	0	0	0	0		
	シロハシ	0	0	0	0		
	カエデ	0	0	0	0		
	カエデ	0	0	0	0		
昆虫類	トンボ	0	0	0	0		
	カマキリ	0	0	0	0		
	クワガタ	0	0	0	0		
	クワガタ	0	0	0	0		
その他	カエル	0	0	0	0		
	カエル	0	0	0	0		
	カエル	0	0	0	0		
	カエル	0	0	0	0		

魚類・両生類・昆虫类等
合計22種の生き物を確認！

いずれの地区でも、みんなで協力し捕獲した生きものをみて、「こんな身近にこんなに多くの生きものが生息していたのには驚いた」など、児童のみならず父兄からも驚きの声があがっていました。

今回の経験をきっかけに、一人でも多くの児童が周辺の生きものや生態系に興味を持ち、将来、大人になったとき、こうした生き物たちが生息する農村環境をさらに次の世代へ繋げていってくれることを期待し、四国土地改良調査管理事務所はこうした活動に今後も協力していこうと思います。



【上：明里川地区】

【右：北条地区】



希少種や地域環境に関する説明に真剣に耳を傾けていました

ディスカバー農山漁村(むら)の宝

農林水産省では、内閣府と連携して「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図ることを目的として、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」という取り組みを始めています。

この取り組みは地域において、新たな需要の発掘・創造や埋もれていた地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組みを行っている団体を募集し（自薦、他薦不問）、優良地区として選定し、全国に紹介するものです。



① 美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承

（例：歴史的景観、伝統、自然等の保全・活用を契機とした農山漁村活性化を図る取組、消費者や住民のニーズを踏まえた都市農業の振興に関する取組 など）

② 幅広い分野・地域との連携による農林水産業・農山漁村の再生

（例：農商工連携、医福食農連携、震災復興、都市と農山漁村の共生・対流等による6次産業化を推進する取組 など）

③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業の実現

（例：学校給食等における地産地消や食育を推進する取組 など）

第1回は今年2月～3月の1か月間募集が行われ、全国から251地区もの応募がありました。この中から優良地区として23地区が選定され、6月には首相官邸において選定証授与式及び交流会が開催されました。

今年度も第2回が予定されていますので、みなさんの地域で該当する団体がありましたら、応募されてみてはいかがでしょうか。

『ディスカバー農山漁村の宝』の詳しいことは、農林水産省のホームページに掲載されていますので、ご覧下さい。



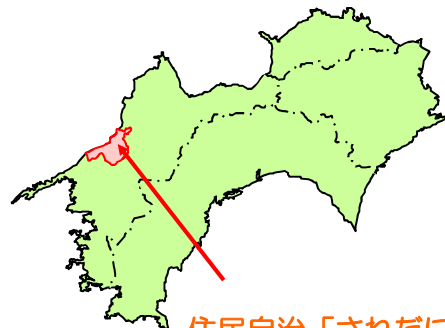
四国地区から選定された『住民自治「されだに」』の取り組みをご紹介します。

住民自治「されだに」

【佐礼谷地区概要】

愛媛県伊予市中山町佐礼谷地区では、過疎少子高齢化が進行する中、ふるさとを自分たちの手で守ろうと、平成18年から検討委員会を設立して1年間にわたって協議を重ね、翌19年に佐礼谷地域の全住民を会員とした住民自治組織『住民自治「されだに」』が発足しました。

住民自治組織の発足により、住民自らが地域の課題を提起し、アイデアを出し合い、地域が活性化する様々な取組を協力しながら取り組んでいます。



住民自治「されだに」



【雑竹林の整備】



【河川のヨシ刈作業】



【ヨシ・竹粉を利用した堆肥化の研究】【若者が中心として遊休農地を開墾】



【遊休農地を活用した体験活動】

負の遺産となりつつある、雑竹林や遊休農地、空き家等を再生することで、環境美化保全活動に寄与するとともに、地域外からの受入体制の構築にも一役買っています。

また、地域の若者が中心となり、一枚の遊休農地を活用し、農家の方の手ほどきを受けながら農作業を行ったり、有志の女子会による地域産品を活用した柚子胡椒等の商品開発なども行っています。

わが町元気に住民一丸

農作物や緑地を生かした地域活性化の推進事例「ディスカバー・島山地区（むら）の定」にこのほか、伊予市中山町新佐礼谷の地区で実施する「住民自治」が掲載されている。

遊休農地で交流イベント



新聞にも紹介されました
(H26.6.28 愛媛新聞)

四国地区からは高知県本山町の『本山町特産品ブランド化推進協議会』の取組み【誇れる田舎「土佐天空の郷」を目指して！】も選定されています。

（今回の表紙の写真も本地区です。）

しこくみち前々号（Vol.11：2013年9月発行）に紹介記事を掲載していますのでご覧下さい。

URLはこちら↓↓↓

<http://www.maff.go.jp/chushi/kj/yontyou/pamphlet.html>



【写真】讃岐平野の実り（水稻：ヒノヒカリ）
当事務所の周辺の水田も実りの秋を迎えようとしています

【文化・歴史】～大洲のうかい（愛媛県大洲市）～

『鵜飼い』とは

『鵜飼い』とは、『鵜（う）』を使ってアユなどを獲る伝統的な漁法のひとつで、その起源は1300年ほど前の大和朝廷まで遡ります。

鵜飼いをする人を『鵜匠（うしょう）』とよび、鵜の喉に紐を巻き、鵜は紐が巻かれたところから完全に魚を飲み込むことができなくなっており、鵜匠はそれを吐き出させて漁獲とします。

鵜飼いは漁獲効率の良い漁法ではなく実用的ではないため、現代では観光として行われることが多く、日本では岐阜県長良川の鵜飼いが有名です。



『大洲のうかい』の特色

開催地によって幾多の変遷を経て今日がありますが、『大洲のうかい』は中でも最も歴史が浅く、昭和32年に観光事業の一つとして開始され、以来、大洲市民をはじめ色々な方々に親しまれています。

『大洲のうかい』の特色は、他地域には見られない『合わせ』という方法を採用されているところです。これは、鵜匠の乗船した『鵜船』に見物客を乗せた『屋形船』が両側に付いて下流に向けて併走しながら鵜飼い見物をするというものです。

～『肱川鵜伝 大洲のうかい』HPより引用～



～『大洲』へのアクセス～

車：松山自動車道 松山IC～大洲IC（約35分）

JR：予讃線 松山～伊予大洲（特急約35分）

表紙紹介

田んぼアート：カツオ人間（高知県長岡郡本山町吉延）

『田んぼアート』とは水田んぼに赤や黒、黄、紫などの色の違う古代米の稲を植えて巨大な絵を作るもので、全国各地で取り組まれている。本地域でも本山町特産品ブランド推進協議会が取り組んでおり、今年で5回目を数える。



今年度描かれたのは高知県にある老舗のお菓子製造会社で、民芸品や地域限定キャラクター商品の企画・卸業も手掛ける『山西金陵堂』が生んだキャラクター『カツオ人間』。

その独特な風貌が話題を呼び、近年では高知県のPR大使として活躍するなど、巷では大人気のキャラクターとなっている。

編集・発行

農林水産省 中国四国農政局 四国土地改良調査管理事務所

〒762-0086

香川県丸亀市飯山町真時677-1

TEL:0877-56-8260 FAX:0877-56-8266

ホームページアドレス:

<http://www.maff.go.jp/chushi/kj/yontyou/index.html>



四国土地改良調査管理事務所

■ 南予用水支所

〒791-8058 愛媛県松山市海岸通2426-5 松山港湾合同庁舎2F

TEL:089-989-7727 FAX:089-989-7884

■ 坂出分室（保全計画課・保全整備課）

〒762-0001 香川県坂出市京町2丁目6番27号 坂出合同庁舎3F

TEL:0877-35-9912 FAX:0877-35-9918

■ 西条分室（水利調整専門官・計画課・情報管理係）

〒799-1371 愛媛県西条市周布349番地-1 西条市役所東予総合支所庁舎4F

TEL:0898-35-2767 FAX:0898-35-2768



事務所の位置図